

「十勝地域リハビリテーション広域支援センター」 の活動について

- 十勝の広域支援センターの組織
- 現在までの事業報告
- 調査報告「事業評価及び今後の方向性」
- 今後の方向性
- 今後の展開と課題



十勝の組織

- 十勝は、総会、理事会、運営委員会、事務局で構成されています。
- 中核となる運営委員会は、6つの関係団体、7つの協力病院から委員が選出されており、ほぼ毎月、運営委員会を開催しています。



事業報告(指定から4年5ヶ月)

- 運営委員会 42回 (次回3月14日を含む)
- 研修会 8回 844名
(3月3日に9回目の研修会開催予定)
- 講師派遣 24回 805名
- 地域懇談会 3回 37名



事業評価に対する「事業評価・方向性調査」

- 目的:これまでの当センターの事業を評価すると共に、補助金打ち切りとなる今後について、方向性を探る資料とする
- 期間: H18年6月～7月
- 対象: 十勝管内 関係事業所 716件
- 方法: 各事業所へアンケート用紙を郵送、FAXにて回答(1施設で1回答とする)



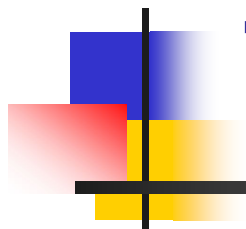
送付施設分類・回答率

◇ 医療機関(医科)	: 251件	◇ 痴呆対応型共同生活	: 17件
◇ 医療機関(歯科)	: 164件	◇ 通所介護	: 30件
◇ 居宅介護支援事業所	: 58件	◇ 保健福祉センター	: 20件
◇ 在宅介護支援事業所	: 33件	◇ 母子通園センター	: 6件
◇ 市町村	: 20件	◇ 訪問看護	: 21件
◇ 指定介護老人福祉施設	: 22件	◇ 訪問介護	: 30件
◇ 指定介護老人保健施設	: 7件	◇ 講師バンク派遣先	: 10件
◇ 社会福祉協議会	: 21件	◇ 関係団体	: 6件

■ 合計: 716件

■ 回答率 69/716 (件) 10%

事業評価





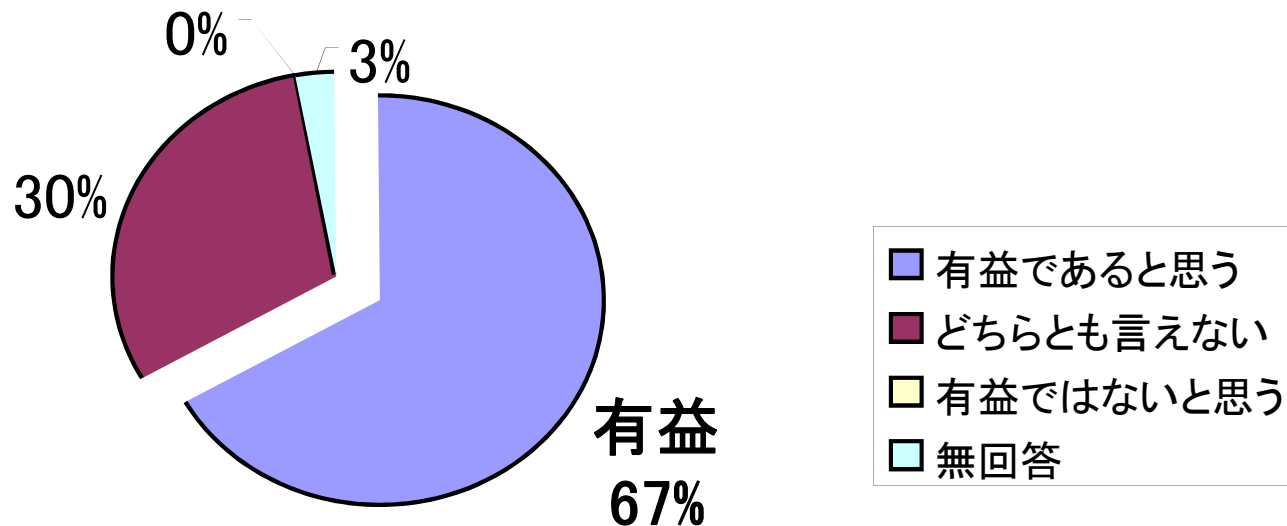
< I 研修会事業 > について

■ 実施回数

平成14年度 1回(162名)・平成15年度 2回(203名)

平成16年度 1回(67名)・平成17年度 3回(326名)

■ 67%の方が有益と回答



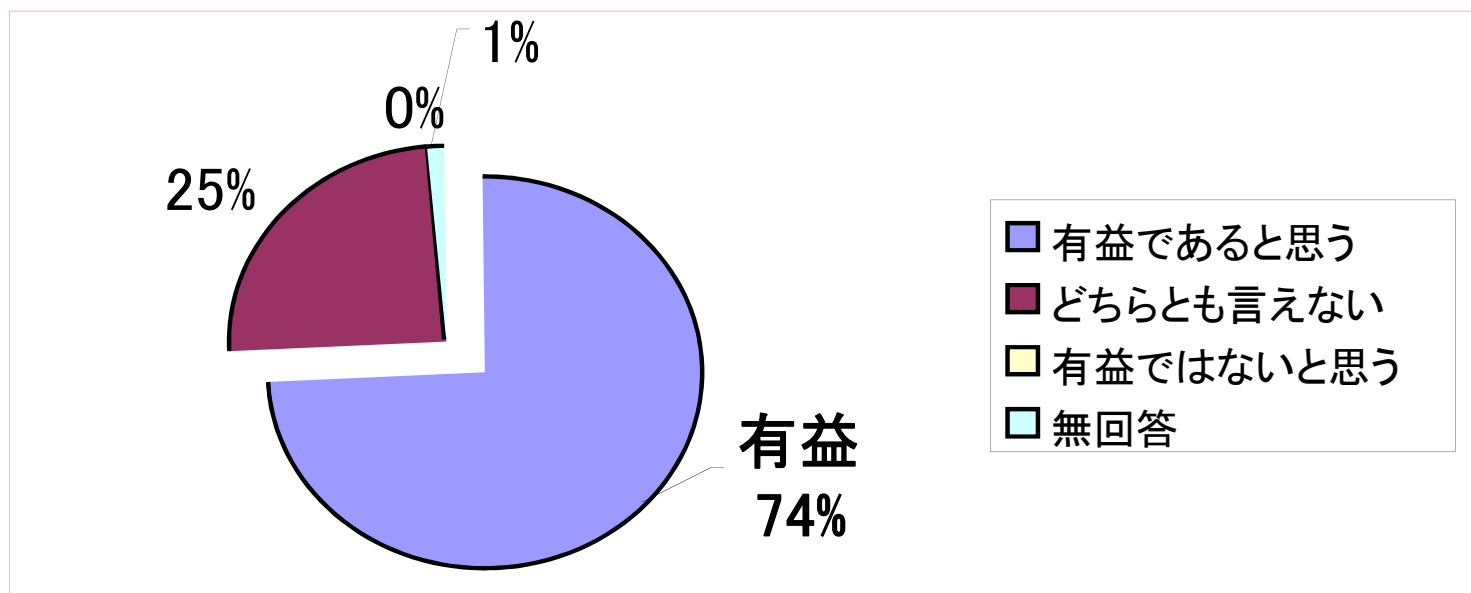
<Ⅱ 講師派遣事業>について

■ 実施

平成15年度 7回(178名)・平成16年度 7回(322名)

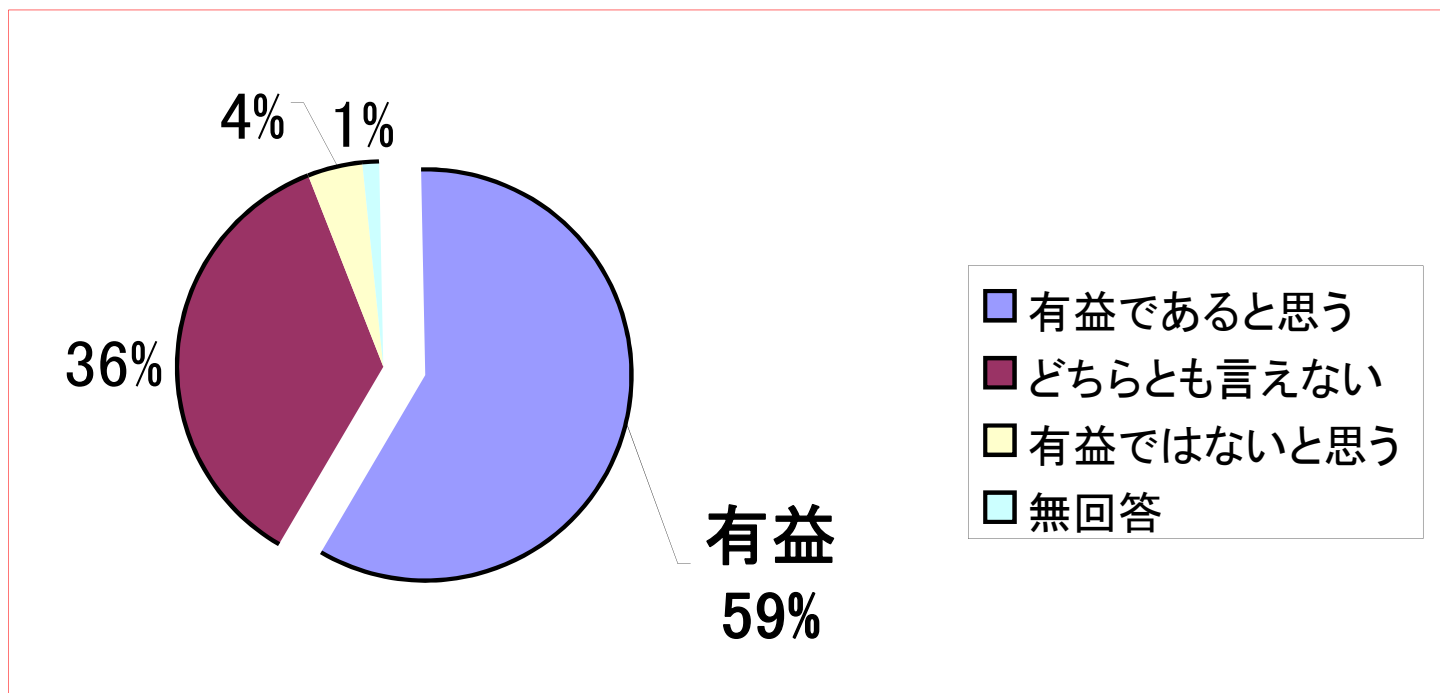
平成17年度 7回(190名)

■ 74%の方が有益と回答



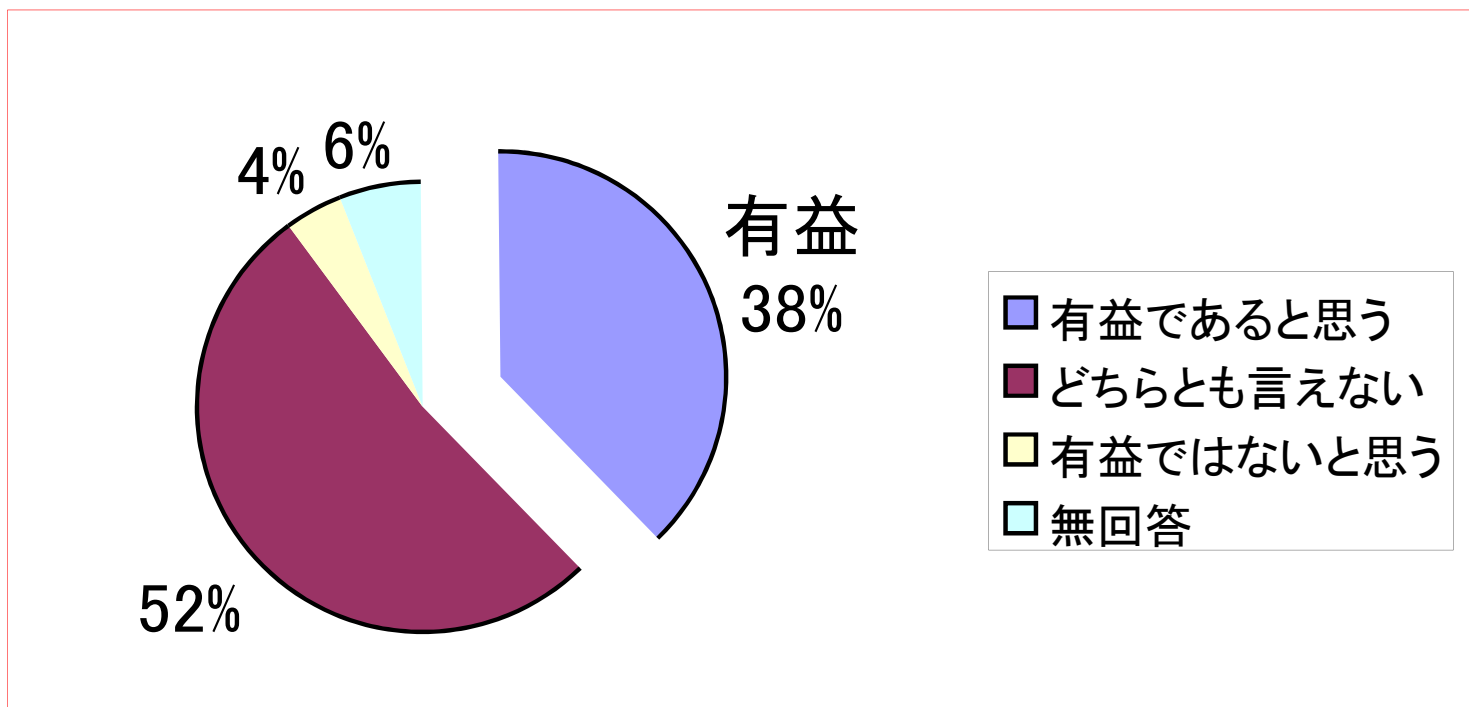
<Ⅲ リハビリテーションに関わる相談事業>について

- 利用実績：なし
- 59%の方が有益と回答



<Ⅳ リハビリテーションに関する地域懇談会>について

- 実施回数 平成16年度1回 17年度1回
- 38%の方が有益と回答

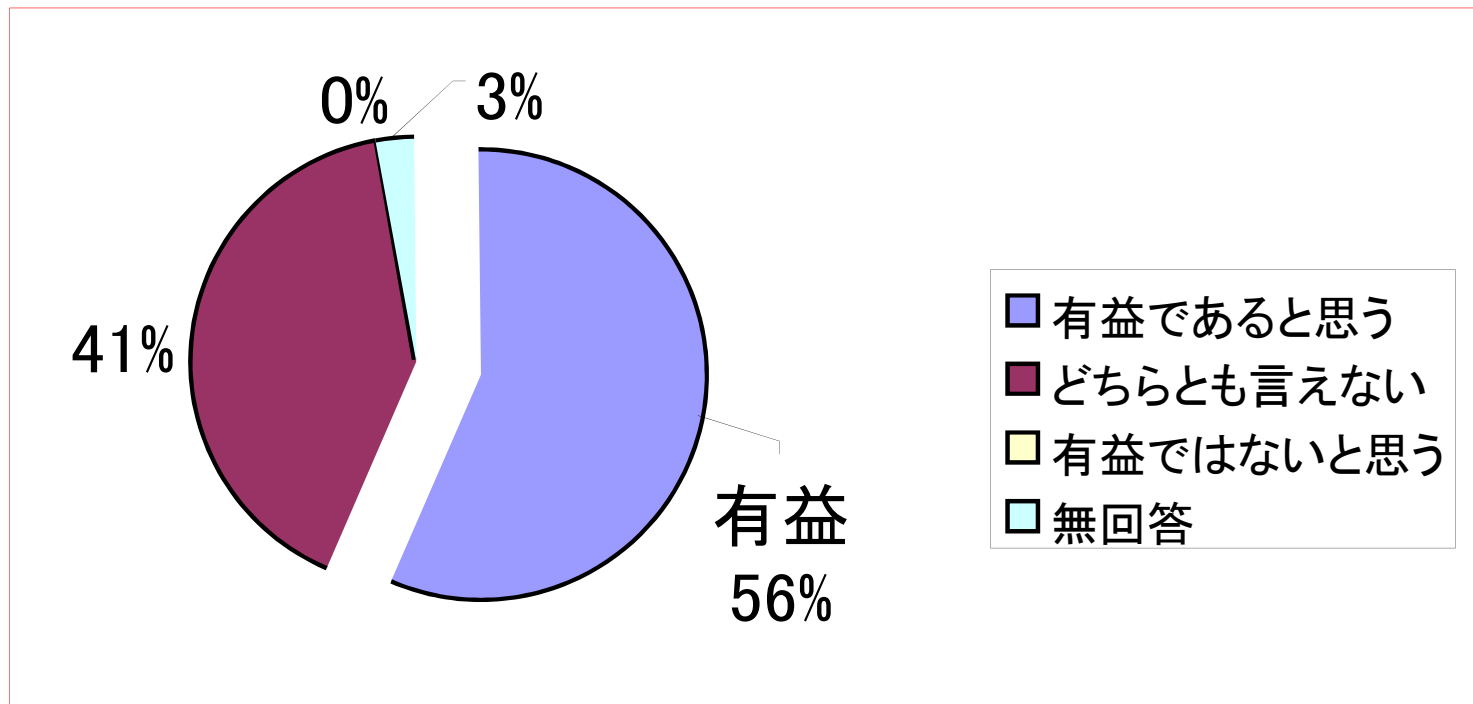


< V ホームページ事業 > について

■ HPアクセス数

- 平成17年10月開設→現在、約1000件

■ 56%の方が有益と回答

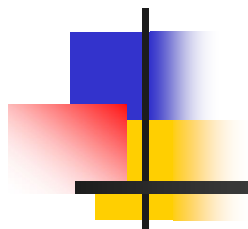




事業評価 まとめ

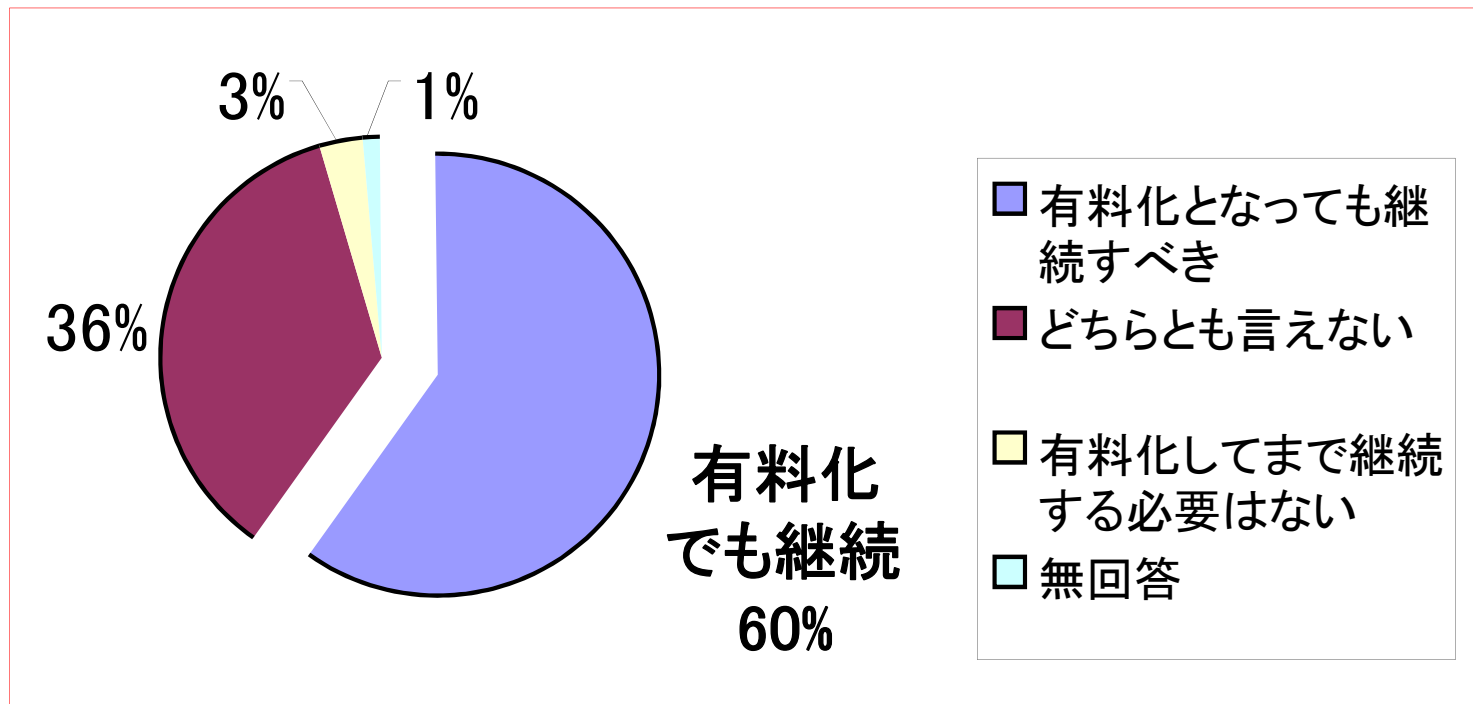
- 懇談会事業以外は、過半数が有益ととらえており、講師派遣(バンク)事業に至っては3/4が有益ととらえている。
- 相談事業は実績がないため、期待値と考えられる。
- 広報不足については、相談事業・懇談会事業・ホームページ事業について指摘された。

方向性調查



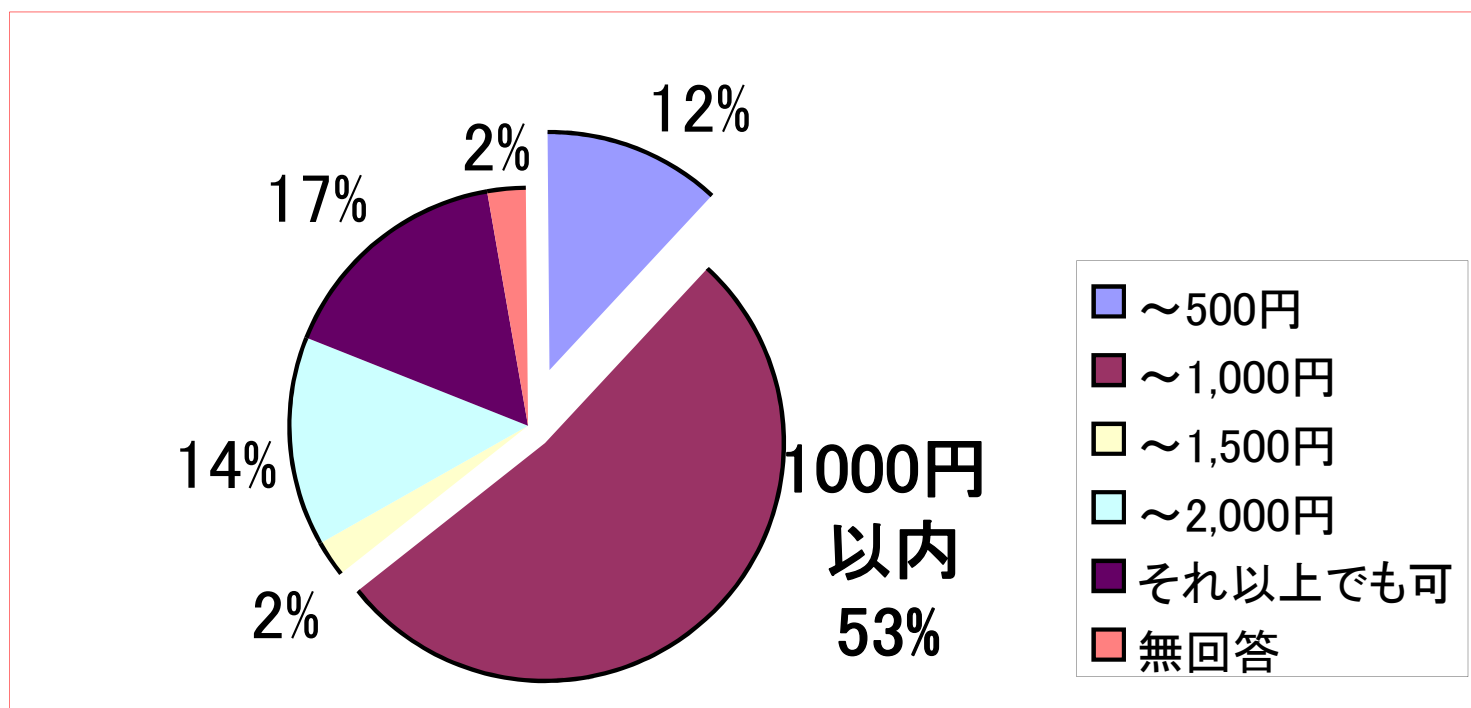
<今後の研修会事業>について

- 有料化となっても継続を希望 60%



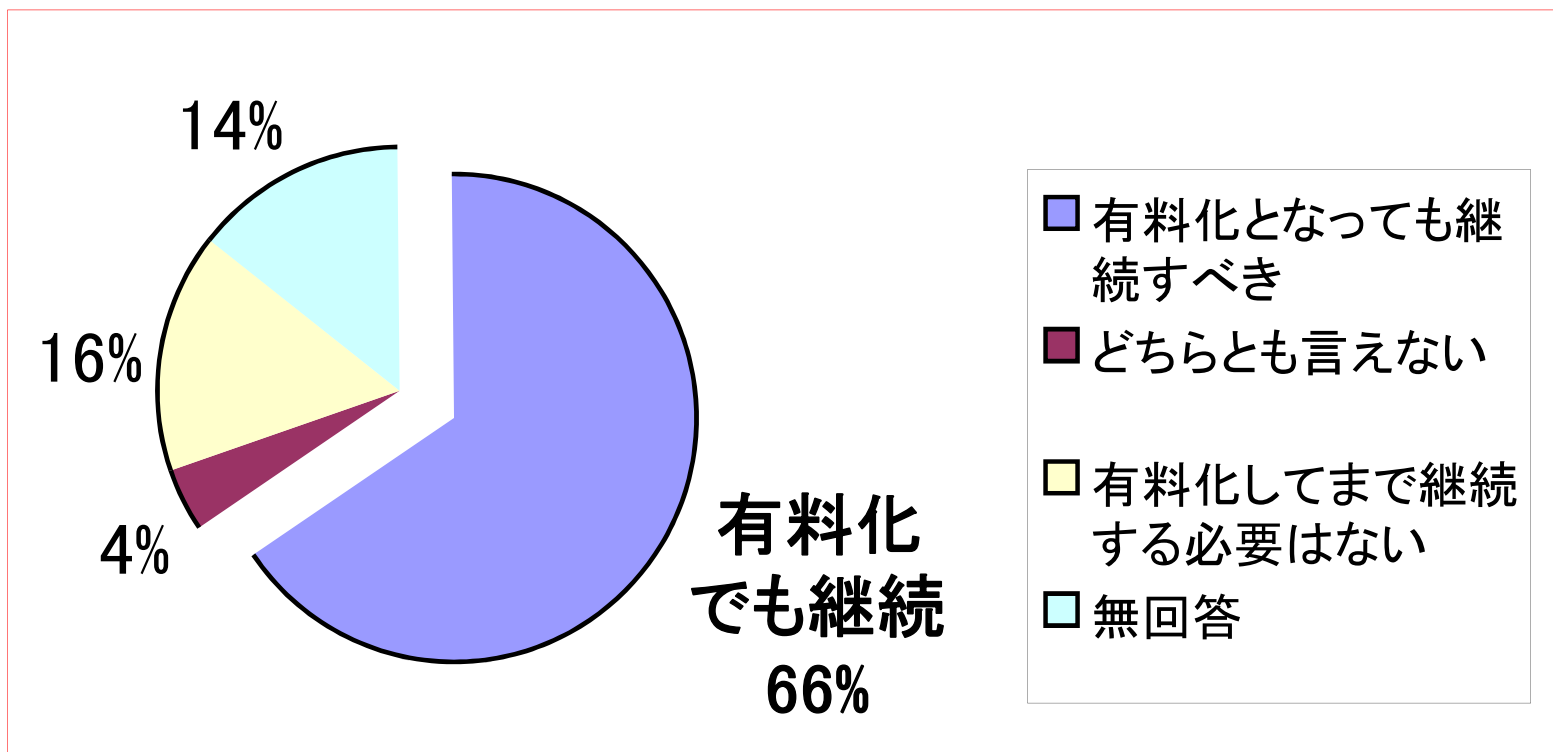
研修会有料化の場合の金額は？

- 「501円～1000円以内」と回答 53%
- 「2000円超」でも可の回答 17%



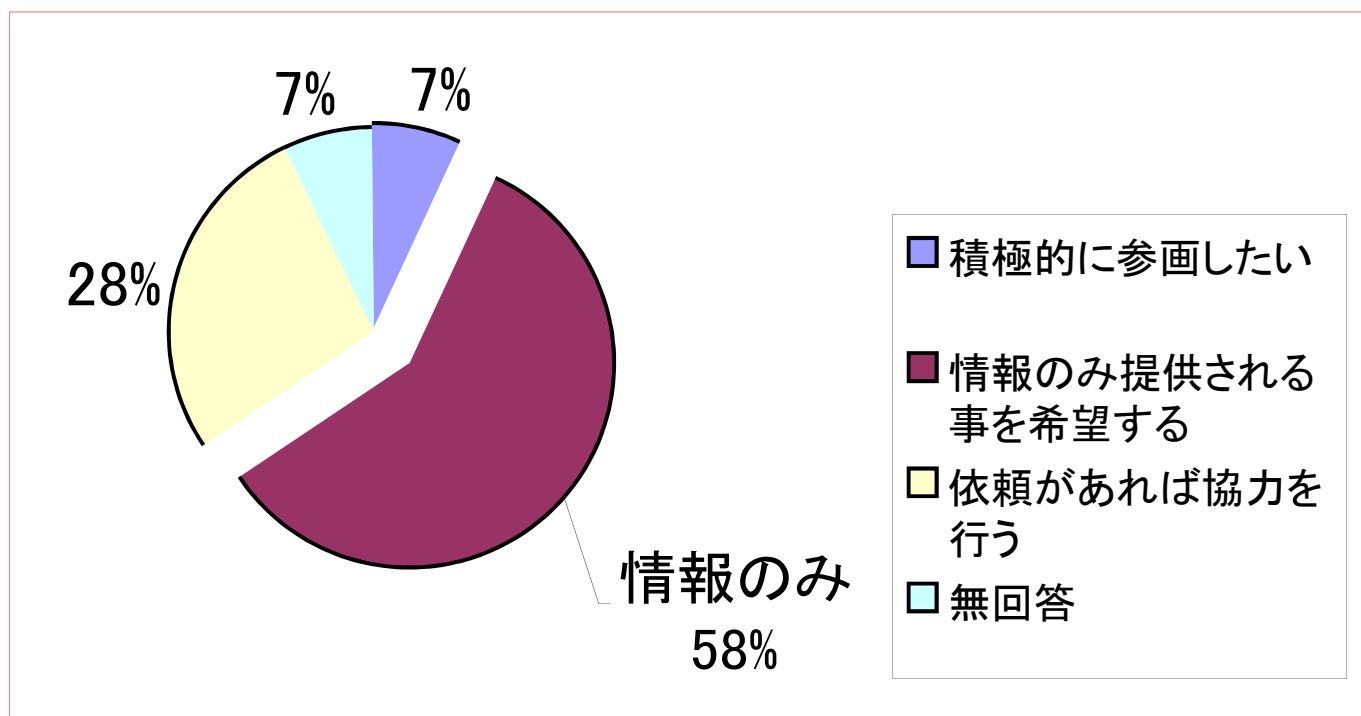
<今後の講師派遣事業について>

- 有料化となっても継続を希望 66%



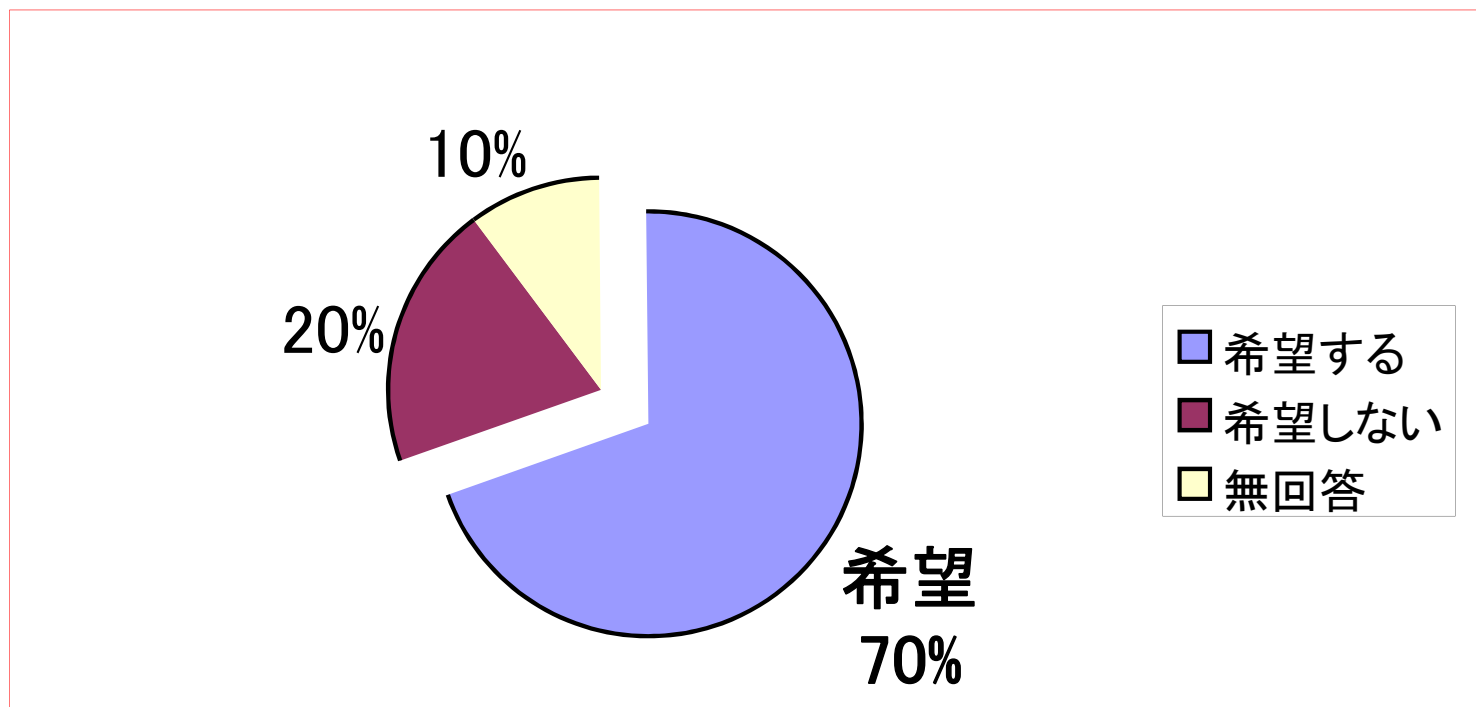
<今後のセンターの構成>について

- 情報のみ希望 58%
- 依頼があれば協力を行う 28%



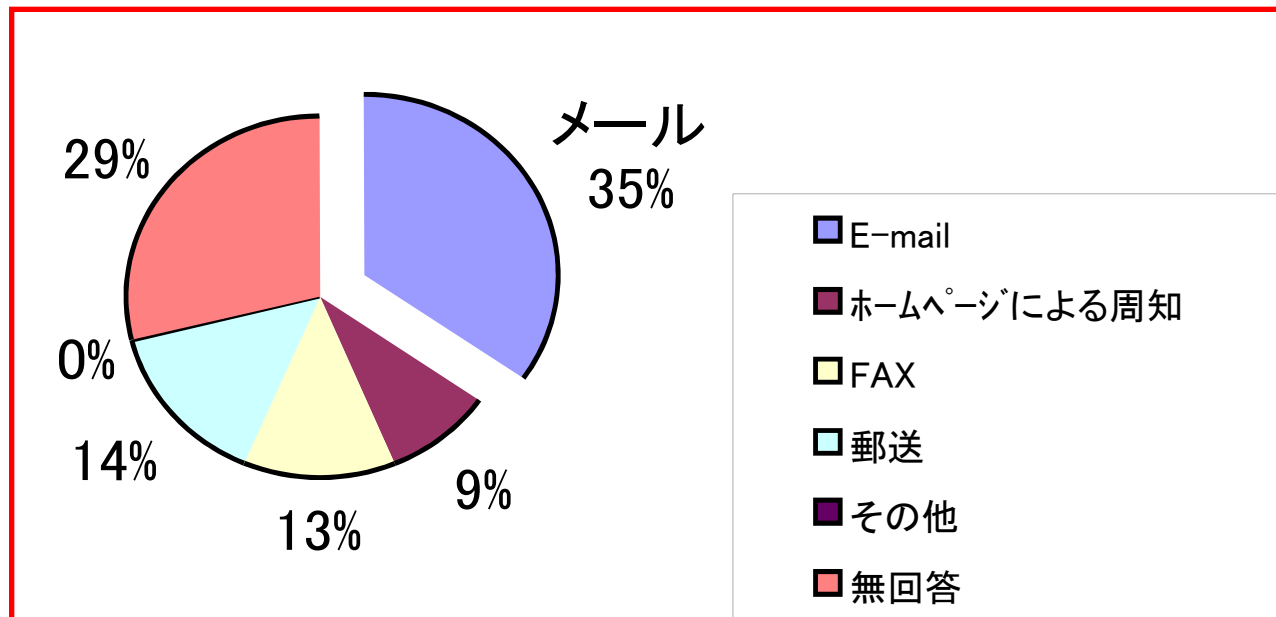
<情報配信等の事前登録は？>

- 希望する 70%



<情報配信の方法は？>

- メール 35%
- 郵送 14%
- FAX 13%





<方向性調査 まとめ>

- 6割以上が各事業の継続を望んでおり、研修会参加費は、1,000円程度が妥当ととらえている。
- 積極的な事業参加は少ないが、情報提供を求む意見は70%と多い。
- 情報提供手段の希望順位
 - 1:E-MAIL 2:郵送 3:FAX 4:HP



今後の方向性について

- 十勝では、この2年間で補助終了後の活動について検討を行ってきました。
- アンケート結果では、センターの対象である事業所から継続を望まれていることが分かりました。
- 今後の事業内容の確認、事務局運営や会則の変更などの問題があるため、運営委員会で各会員(6関係団体、7協力病院)の意向を取りまとめて方向性を決める予定です。

今後の展望と課題

運営委員会

会員のセンター存廃に関する意向の取りまとめ

検討事項

- ◇事業内容の確認
- ◇事務局運営の見直し

- ◇名称取り扱い
- ◇会則改定

会員・会費

- ◇平成19年度事業案

存続

- ・例年通り(5月くらい)に総会・理事会を開催

廃止

- ・3月中に総会・理事会を開催し、解散決議
- ・会計監査
→事業実績報告書を4月20日までに提出
- ・機材の処理